空から夏の美濃市映す

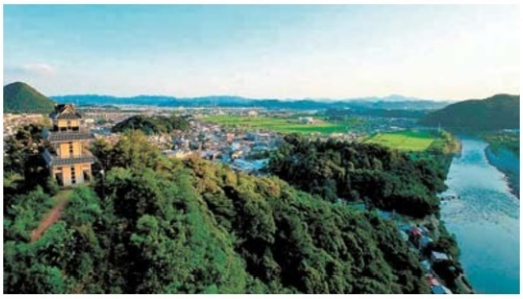
ドローンで撮影、PR動画大会

江南の企業が最優秀

第3回美濃市ドローン空撮大会（同市主催）の上映会・表彰式が27日、同市常盤町の市健康文化交流センターで開かれ、「夏の美濃市」をテーマに、プロアマ問わず全国から集った12チームが市のPR動画を披露した。（桂川景）

大会は、市内でドローンがる町並みや旧今井家住宅・美濃史料館など市内の観光名所で撮影し、約3分の動画に編集した。英語の字幕や自ら作曲した音楽を付けたチームもあった。

第３回美濃市ドローン空撮大会で入賞した参加者＝同市常盤町、市健康文化交流センター



美濃市を映したＰＲ動画の一こま

武藤鉄弘市長ら5人が審査員を務め、来場者も1人1票を投じた。最優秀賞には、小澤諒祐さん(19)が代表を務める映像製作会社「Ｋｏｚａａａ ＦＰＶ」（愛知県江南市）の作品が選ばれた。市内を巡り歩き、美濃を堪能する女性の様子をドローンでたくみに映し出した。

岐阜精華学園多治見校ドローン専科3年の佐藤風雅さん(18)は「編集に時間がかかり苦戦したが、仲間と一つの動画を作ることができて良い経験になった」と振り返った。

ロボッツの石田宏樹社長は「どの作品も完成度が高く、感動した。未経験者の方にも、動画を通してドローンに興味を持ってもらいたい」と話した。入賞作品は、9月から市観光協会のホームページを通じて鑑賞できる。

無断複製・転載を禁じます